

# 令和5年度 社会福祉法人修倫会事業報告

## I 基本理念

社会福祉法人修倫会は地域と共に、地域福祉のセーフティネットを構成する社会資源として、障がい者支援の役割を担い信頼される法人をめざします。

## II 基本方針

「利用者の自己選択」「就労支援の強化」「地域生活支援」をキーワードに、以下の3点を基本方針とする。

- (1) 利用者の人権を尊重し満足度の高い福祉サービスに努める。
- (2) 各事業所及び職員の連携を強化し、社会資源やネットワークの活用に努める。
- (3) 職員は、支援者としての役割を自覚し専門性の向上に努める。

## III 経営事業

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として次の事業を行った。

### ○第二種社会福祉事業

- (1) 障害福祉サービス事業  
就労継続支援B型（定員40名）「松柏園」  
就労継続支援B型（定員40名）・共同生活援助（定員22名）「みずき園」  
就労継続支援B型（定員20名）「あすリード本舗」
- (2) 一般相談支援事業  
地域移行支援・地域定着支援「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」
- (3) 特定相談支援事業  
特定相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」
- (4) 障害児相談支援事業  
障害児相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」
- (5) 障害者就業・生活支援センター事業〈生活支援等事業〉  
「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

### ○公益事業

- (1) 障害者就業・生活支援センター事業〈雇用安定等事業〉  
「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

## IV 令和5年度重点項目

法人が経営する「松柏園」、「みずき園」、「あすリード本舗」、「チャレンジドセンター久慈」の4事業所が相互に連携し協働のもと、激変する経営環境を見極めながら、次の項目に取り組んだ。

### (1) 法人中期計画の策定

法人の「基本理念」「基本方針」を根幹として、法人経営の課題の解消を図りながら安定的な経営をめざすため、令和6年度から令和9年度までの法人中期計画を策定した。

(2) 業務継続計画（BCP）の策定

業務継続に向けた取組の強化のため、自然災害や感染症が発生した場合等の業務継続にむけた計画を策定し、訓練・研修実施体制を整備した。

(3) 感染症防止に向けた取り組み

感染症対策の強化のため、感染対策指針を策定し、感染対策委員会の設置及び訓練・研修実施体制を整備した。

## V 法人の運営

### 1 評議員会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	評議員 (定数7)		
定 時 6月22日	5		(1) 報告事項 令和4年度事業報告について (2) 議案 令和4年度計算書類及び財産目録の承認について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会理事の選任について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会監事の選任について

### 2 評議員選任・解任委員会の開催状況

今年度の開催はありませんでした。

### 3 理事会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	理 事 (定数6)	監 事 (定数2)	
第1回 6月6日	6	2	(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について 経理規程細則別添1「共通経費の配分基準表」の一部変更について (2) 議案 令和4年度事業報告について 令和4年度決算について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会理事候補者の推薦について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会監事候補者の推薦について 令和5年度定時評議員会の招集について 給与規程の一部変更について 有期契約職員就業規則の一部変更について 令和5年度第1次補正予算について
第2回 6月22日	6	2	(1) 議案 社会福祉法人修倫会理事長の選定について 社会福祉法人修倫会専務理事の選定について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会第三者委員の選任について

第3回 7月13日	6	2	(1) 報告事項 利用者死亡事故発生の報告について
第4回 12月19日	6	1	(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について 令和5年度社会福祉法人指導監査の実施結果について 障がい者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）事務指導の実施結果について 寄付金の受け入れについて (2) 議案 経理規程の一部変更について 令和5年度第2次補正予算について みずき園生活介護事業導入計画の策定について
第5回 3月21日	6	2	(1) 報告事項 令和6年度障害福祉サービス報酬改定の概要について 令和5年度福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金について みずき園生活介護事業導入計画の進捗状況について (2) 議案 給与規程の一部変更について 有期契約職員就業規則の一部変更について 令和5年度第3次補正予算について 法人中期計画の策定について 感染対策指針及び事業継続計画（BCP）の策定について 松柏園運営規程の一部変更について みずき園運営規程の一部変更について みずき園共同生活援助運営規程の一部変更について あすリード本舗運営規程の一部変更について 一般相談支援事業運営規程の一部変更について 特定・障害児相談支援事業運営規程の一部変更について 令和6年度事業計画について 令和6年度予算について

#### 4 監事監査

監査等	開催日	内容
決算監査	5月24日	令和4年度業務執行状況及び財産状況監査 監事：佐々木信蔵、勝田好正 説明者：間健倫理事長、田代順専務理事、 各事業所管理者4名及び事務員5名
出納調査	5月24日	1月～3月までの会計執行状況
	8月30日	4月～6月までの会計執行状況
	11月21日	7月～9月までの会計執行状況
	2月21日	10月～12月までの会計執行状況

## 5 会計顧問による月次会計監査

会計顧問「税理士法人つばさ会計」による月次監査を毎月実施し、1か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

委嘱契約の内容 (1) 会計顧問 (2) 決算監査 (3) 税務顧問

## 6 福祉サービスに係る苦情解決事業

### (1) 苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。

### (2) 苦情受付

苦情解決規程に基づく苦情受付はありませんでした。

## 7 身体拘束適正化の取り組み

### (1) 指針の整備

身体拘束禁止に関する指針を整備し、利用者に対する身体拘束を禁止するとともに、やむを得ず身体拘束や行動制限を行う場合の対応方法を明確にすることで、利用者の人権を尊重した適正な支援の提供に努めた。

### (2) 身体拘束廃止委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員で構成する「身体拘束廃止委員会」を設置し、各事業所の取り組みを点検するとともに、身体拘束の廃止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は3回開催し、委員会開催時期の設定、該当ケースに係る定期検討会を実施した。

## 8 虐待防止の取り組み

### (1) 虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。

### (2) 虐待通報受付

虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

### (3) 虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当で構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は5回開催し、職員倫理綱領の周知や職員セルフチェックの活用と課題検討を行った。また、法人内全職員を対象とした虐待防止研修を企画・実施した。

## 9 地域における公益的な取組

### (1) 「IWATE・あんしんサポート事業」の実施

地域の市町村行政や社会福祉協議会等と連携・協力しながら、さまざまな生活課題を抱える皆さまの相談に応じ、日常生活上の福祉的な困りごとの解決に向けて支援していく社会貢献（地域公益）活動を実施した。

今年度のサポート対応はありませんでした。

## 10 情報公開

### (1) ホームページへの掲載

法人ホームページを開設し、社会福祉法人に公表が義務付けられている事項及び積極的な公表事項等について公開した。

○社会福祉法に基づく公表事項

定款の内容、報酬等の支給の基準、役員等名簿、事業の概要、計算書類

○積極的な公表事項

事業報告書、財産目録、付属明細書、監査報告書、社会福祉充実残額算定シート

(2) 法人機関紙の発行

法人機関紙を年1回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

1.1 研修の状況

(1) 法人職員の外部研修への参加

期 日	研修名	場 所	参加者
7月27日	令和5年度社会福祉法人経営サポートセミナー (岩手県保健福祉部主催)	久慈地区合同庁舎	施設長 渡辺和光 事務員 稲村布美子
7月27日	令和5年度事業継続計画(BCP)策定セミナー (岩手社会福祉協議会主催)	オンライン	事務局長 田代 順 事務局次長 鈴木 潔

(2) 法人職員研修会の開催

期 日	研修名・内容	場 所	参加者
8月26日	令和5年度第1回法人職員研修会 ○実技「救急入門」 心肺蘇生法、AED操作について 講師：久慈消防署署員5名 ○報告「松柏園利用者死亡事故発生時の対応について」 報告者：松柏園施設長 渡辺和光	久慈市総合福祉センター	全事業所職員56名
2月3日	令和5年度第2回法人職員研修会 ○グループワーク「日頃虐待について感じていることを出し合おう」 アドバイザー：チャレンジドセンター久慈 久慈施設長 鈴木 潔	久慈市総合福祉センター	全事業所職員51名

(3) 各施設の職員研修

施 設 名	内部研修の実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	0	5	9
みずき園	0	6	12
あすリード本舗	0	3	3
チャレンジドセンター久慈	2	12	16
合 計	2	26	40

1.2 役員等の状況 (令和6年3月31日現在)

【評議員7名(定数7名)】

田表 一夫                      日沢マサ子                      田中 泰郎                      瀧 重吉  
村田 幸江                      松野下富則                      七十刈清明

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日  
満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【理事6名（定数6名）、監事2名（定数2名）】

理事長 間 健倫 専務理事 田代 順 理事 中野 信男  
理事 大崎 恵作 理事 間 加壽子 理事 高屋敷真喜子  
監事 佐々木信蔵 監事 勝田 好正

※ 任期 就任年月日：令和5年6月22日  
満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【評議員選任・解任委員5名（定数5名）】

外部委員 岩崎 壽吉 外部委員 宇部 繁 監事 佐々木信蔵  
監事 勝田 好正 事務局員 渡辺 和光

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日  
満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【第三者委員2名（定数2名）】

神田 秀子（元評議員） 神田 光子（元民生児童委員）

※ 任期 就任年月日：令和5年6月22日  
満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

1.3 職員の状況（令和6年3月31日現在）

施設名	職員数	内 訳		
		常用職員	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	16	5	5	6
みずき園	28	11	5	12
あすリード本舗	10	6	2	2
チャレンジドセンター久慈	5	4	1	0
合 計	59	26	13	20

## VI 事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

- ・令和5年度松柏園事業報告
- ・令和5年度みずき園事業報告
- ・令和5年度みずき園共同生活援助事業報告
- ・令和5年度あすリード本舗事業報告
- ・令和5年度チャレンジドセンター久慈事業報告

## VII 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

# 令和5年度 松柏園事業報告書

## 1 総括

松柏園運営規程に基づき、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、高齢化や疾病の進行に伴い、生活場面での介助や支援を必要とする利用者が増加傾向にあった。また、後期に新規利用者が1名あったものの、疾病等による長期欠席者が複数おり年間を通して4名の退所者があった。利用契約者及び平均利用者数が減少し、今後の新規利用者獲得が課題となった。

就労支援事業では、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、地域イベント等が通常通りの開催となった事により、シルクスクリーン印刷科を中心とした製品の受注が増加した。さらに、各科製品単価の値上げを行いながら利益の確保に努めた結果、平均工賃月額35,198円となり目標工賃額を上回ることが出来た。

## 2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 身体障害者、知的障害者
- (5) 就労支援種目 クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
- (6) 職員の配置状況 (令和6年3月31日現在)

職種	員数	常勤		非常勤		常勤換算
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長(管理者)	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
目標工賃達成指導員	1	1				1
生活支援員	2	2				2
職業指導員	6	4		2		5.2
業務員	1			1		0.7
職業指導員補助	1			1		0.8
事務員	1	1				1
運転手	2			2		0.8
合計	16	10		6		13.5

## 3 施設サービスの状況

### (1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の障がい特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

利用者の生きがいのある豊かな生活のため、季節ごとに創意工夫した各種行事を実施した。また、新型コロナウイルス感染症が第5類に分類され、行動制限が緩和されたことから、感染対策を行いながら施設外の行楽行事を行った。

- ・夏の行事（野田村ほたてんぼうだい見学）、秋の行事（御所野縄文博物館見学）  
忘年会（えぼし荘）、慰労食事会等

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 36名（利用率90%）  
・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり300円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の258円

(6) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、健康診断を年1回（2月）実施。また、希望者（20名）には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

(7) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス利用者数 34名（利用率85%）

(8) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回4月）を実施した。

(9) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当職員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、生活支援に努めた。

#### 4 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	26	26	26	26	26	26	26	26	26	25	24	24	307	25.5
女性	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	159	13.3
合計	40	40	40	39	39	39	39	39	39	38	37	37	466	38.8

(2) 障害別利用者数

(単位：人)

障害種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	程度	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	
利用者数	0	8	0	1	1	2	0	2	1	2	0	1	37
小計	12						2		4				

(3) 年齢別利用者数

(単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	6	4	6	12	9	37	49.8歳

(4) 出身市町村別利用者数

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	24	5	3	5	0	37

#### 5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	20	22	22	21	21	21	23	22	22	20	19	21	254
延利用者数(人)	710	762	752	707	685	707	784	730	741	663	606	620	8467
1日平均利用者数(人)	35.5	34.6	34.2	33.7	32.6	33.6	34.1	33.2	33.7	33.2	31.9	29.5	33.4
利用率(%)	88.0	86.6	85.5	86.3	83.6	86.3	87.4	85.1	86.4	85.0	84.0	79.8	85.3

## 6 就労支援事業の状況

### (1) 年間就労支援事業収入

作業科	収入(円)	前年度対比(%)
クリーニング	33,493,228	108.3%
縫製	2,273,348	116.7%
シルクスクリーン印刷	18,221,185	110.4%
合計	53,987,761	109.3%

### (2) 工賃支給状況

	令和5年度目標	令和5年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	30,600円	35,198円	30,565円

### (3) 各科の状況

#### <クリーニング科>

主力となる4施設の入所者私物クリーニングは順調に推移し、昨年度とほぼ同額の確保となった。

一般クリーニングは、前年度比26.1%増となった。要因としては、市内の介護施設、保育園のリネンクリーニングの新規受託、民間事業所のユニホームや白衣のクリーニング、学校等団体への継続的な営業活動により、売り上げを伸ばす事が出来た。

作業面では、新規のリネンクリーニングに対応するため、ロール作業ができる利用者を育成し、効率化を図った。

設備面では、30kg洗濯機が導入から30年以上経過し、経年劣化が激しいため年度末に更新を行った。

クリーニング収入内訳(円)		前年比%
施設利用者私物(老健等4施設)	23,164,870	103.4
基準寝具業務委託(特養1施設)	1,793,725	102.7
一般(団体等)	8,534,633	126.1
計	33,493,228	108.3

#### <縫製科>

全体での売り上げは前年度比16.7%増となった。各社より安定した作業量を確保しながら、A社への値上げ交渉をおこない製品単価をあげる事が出来たため前年を上回る売り上げとなった。

作業面においては、体調不良や疾病による退所者が相次ぎ、取り組みが難しくなった作業もあったが、体調面や安全面に注意しながら無理のない作業量となるよう配慮した。また、各社へ交渉しながら利用者が可能な作業を増やす努力を継続しておこなった。

縫製収入内訳(円)		前年比%
子ども服仕上げ受託縫製事業所A社	1,427,301	141.3
バック付属品受託縫製事業所B社	506,606	106.4
ジャージ糸切り受託縫製事業所C社	339,411	73.5
計	2,273,348	116.7

### <シルクスクリーン印刷科>

全体での年間売上は、前年度比 10.4%増となった。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行しイベント関係の注文が多くあったが、特にTシャツ、のぼり旗類の売り上げが前年度比増となった。

ポイントカードを発行し2年経過したが、リピート注文や口コミによる顧客数が増え、新規の注文も多くなった。

また、4月にはTシャツ類中心に値上げをおこない利益確保に努め、作業部材は可能な限り再利用するなどして経費の削減にも努めた。

支援面では単独で行っていた作業工程を見直し、細分化する事により、複数名の利用者が取り組み可能となるよう支援した。

シルクスクリーン印刷 収入内訳（円）		前年 比%
タオル類	5,806,350	113.1
Tシャツ類	6,936,200	119.1
のぼり旗類	2,941,950	134.3
その他のアイテム	2,536,685	75.5
計	18,221,185	110.4

## 7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	3	「松柏園だより」発行		
	4	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
	6	親睦会総会	食堂	利用者33名、職員10名
	12	避難訓練	園敷地内	利用者32名、職員13名
5				
6	8	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
7	3	「松柏園だより」発行		
8	12	特別工賃支給		
	13~15	お盆休み		
	24	夏の行事	野田村	利用者29名、職員14名
9	7	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
10	2	「松柏園だより」発行		
11	8	避難訓練	園敷地内	利用者34名、職員12名
	9	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
12	15	特別工賃支給		
	16	忘年会	えぼし荘	利用者30名、職員13名
	25	クリスマス会	食堂	利用者34名、職員11名
	29	大掃除	食堂	
	30~1/3	年末年始休み		
1	4	「松柏園だより」発行		
2	9	利用者健康診断	みずき園	利用者36名
3	21	慰労食事会	食堂	利用者34名、職員11名

\*毎月15日は工賃支給日、体重・血圧測定、ごちそうの日

## 8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般、工賃等について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	施設長、係長	法人内全事業所の運営について
年4回	給食会議（松柏園・みずき園合同）	担当支援員	給食業務全般、栄養指導について

## 9 職員研修の状況

### 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
7/4 ~5	令和5年度 社会福祉従事者新 任職員研修	岩手県社会 福祉協議会	メトロポリタ ン盛岡	職業指導員	2名	講義 「職場生活の基本」 「福祉倫理と運営管理」 「キャリアデザインとセルフマネ ジメント」
8/27	クリーニング師研 修及びクリーニン グ業務従事者講習	公益財団法 人岩手県生 活衛生営業 指導センタ ー	釜石地区合同 庁舎	施設長 生活支援員 職業指導員	3名	・衛生法規及び公衆衛生 ・繊維及び繊維製品 ・洗濯物の処理 ・洗濯物の受取り、保管及び 引渡し
9/20	危険物取扱者保安 講習	岩手県危険 物安全協会	久慈市アンバ ーホール	係長 生活支援員	2名	危険物施設において、危険物 の取扱作業に従事する危険物 取扱者を対象とした保安講習
12/13 ~14	令和5年度職員研 修会	東北地区社 会就労セン ター協議会	ホテル福島グ リーンパレス	職業指導員	1名	講演「支援と工賃向上の両立 に向けて～変化に合わせる対 応力とは～」
3/1 ~15	令和5年度 工賃引き上げ支援 セミナー	岩手県保健 福祉部	オンライン 会議室	係長	1名	動画内容 ・商品の高付加価値化の具体 的取組 ・岩手県の福祉的就労を踏ま えた工賃向上成功例

# 令和5年度 みずき園事業報告書

## 1 総括

みずき園事業計画及び運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性を尊重しながら、生産活動と生活支援を通じて知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら、適切な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、新規利用者が1名、年度途中での退所者が2名あった。利用日数の設定が少ない利用者や体調不良等による欠席もあり、平均利用者数は昨年より僅かに減少した。利用者の獲得に向け、特別支援学校等からの実習や見学の受け入れを行い、次年度からの利用開始に繋げることが出来た。

就労支援事業は、今年度5月より新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し、観光客の足も戻りつつあるなか、道の駅いわて北三陸がオープンし、商品の取り扱い店が増えた。また、秋にはバザーを再開するなど全体として前年よりも売り上げが増加し、これにより工賃は前年を大きく上回り目標工賃を達成することが出来た。

利用者支援は、感染症対策を継続しながら、外出行事を実施するなど、楽しみながら通えるようなサービス提供に努めた。

また、利用者の重度高齢化が進むみずき園において、かねてより懸案であった今後の事業形態について検討を重ねた結果、令和6年10月より生活介護事業を導入し、3年後を目途に就労継続支援B型事業を廃止する計画を立案し、今年度12月開催の理事会において承認された。2月には利用者及びご家族への説明会を開催し、生活介護事業導入に向けた取組を開始した。

## 2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目 食品製造・リサイクル・製粉加工・その他
- (6) 職員の配置状況 (令和6年3月31日現在) (単位：人)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長(管理者)	1		1			1
副施設長兼職業指導員	1	1				1
事務員	2	1		1		1.7
サービス管理責任者	1	1				1
職業指導員	4	2		2		3.6
生活支援員	3	3				3
目標工賃達成指導員	1	1				1
調理員	3			3		1.7
運転手	2			2		1.1
合 計	18	9	1	8		15.1

## 3 施設サービスの状況

### (1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び生活支援を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

・支援検討会議 年2回実施

(2) 作業支援

利用者個々の心身の状態に合った作業環境を整え、継続的な就労の場を提供する。とともに、利用者個々の能力を向上するための作業支援に努めた。

また、高齢化や重度化により作業への取り組みに一定の配慮を要する利用者が増加している現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては、作業支援と並行して創作活動などの機会を増やすことにより、心身の安定を図りながら、無理のない作業への取り組みとなるよう努めた。

(3) 社会生活支援

利用者の生きがいある豊かな生活のため、季節ごとに創意工夫した各種行事を実施した。また、新型コロナウイルス感染症が第5類に分類され、行動制限が緩和されたことから、感染対策を行いながら施設外の行楽行事を再開した。

- ・春の行事（お茶会）、夏の行事（洋野町アグリパークおおさわ、道の駅いわて北三陸）、秋の行事（野田塩作り、道の駅たのはた）、冬の行事（卓球バレー）、ミニ運動会、障害者アート展出品、忘年会（久慈グランドホテル）、ミズキまつり、慰労食事会（道の駅くじ）

(4) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を年1回（2月）施設内で実施。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種（11月・27名）を実施した。

感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、アンケート調査を実施し（年2回）、少食を希望する利用者へも対応しながら、調理可能な範囲でバラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 38名（利用率97.4%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり340円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の298円

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス利用者数 35名（利用率90%）

(7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき、消防署指導による総合防災訓練（年1回10月）、自主避難訓練（年1回5月）を実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。

#### 4 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	23	23	23	24	24	24	24	24	24	24	24	23	284	23.6
女性	17	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	197	16.4
合計	40	40	40	41	41	40	40	40	40	40	40	39	481	40.0

(2) 障害別利用者数 (単位：人)

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A判定	B判定	1級	2級	3級	手帳なし	
利用者数	1	0	0	0	0	0	16	21	0	1	0	0	39
小計	1						37		1				

(3) 年齢別利用者数 (単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	3	20	10	3	3	39	45.2歳

(4) 出身市町村別利用者数 (単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	26	10	2	1	0	39

#### 5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数(日)	20	22	22	21	21	21	22	22	22	20	19	21	253
延利用者数(人)	687	737	747	734	665	726	753	737	714	666	609	678	8453
1日平均利用者数(人)	34.4	33.5	34.0	35.0	31.7	34.6	34.2	33.5	32.5	33.3	32.1	32.3	33.5
利用率(%)	85.9	83.8	84.9	85.2	77.2	86.4	85.6	83.8	81.1	83.3	80.1	82.8	83.3

## 6 就労支援事業の状況

### (1) 年間事業収入

科 目	収 入 (円)	前年度対比 (%)
食 品 製 造 事 業	3, 9 7 6, 2 5 0	1 0 0. 5
リ サ イ ク ル 事 業	1, 9 7 6, 6 8 4	1 0 7. 4
製 粉 事 業	1, 4 1 4, 3 1 0	1 0 3. 6
受 託 事 業	4, 5 1 5, 0 0 0	1 2 1. 7
合 計	1 1, 8 8 2, 2 4 4	1 0 9. 3

### (2) 工賃支給状況

	令和5年度目標	令和5年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	6, 0 0 0 円	8, 0 7 5 円	5, 5 0 5 円

### (3) 各事業の状況

#### <食品製造事業>

食品製造事業は、前年からほぼ横ばいで推移した。

営業面では、今年度新たにオープンした道の駅いわて北三陸への出品効果により上半期の売上げが伸び、菓子類の売上げが12%増加した。

一方、課題であった生産体制は、取り組み可能な利用者の減少と生産能力の低下が顕著になっており、職員による製造対応も限界となったことから、年度後半での事業内容の見直しを余儀なくされた。生産能力に見合った生産・営業体制をとるため、商品構成の見直し(主力商品に絞る)、商品の値上げ、短期間に大量生産が必要なギフト販売の計画的な営業抑制等を行い、無理のない生産数量とコストの削減、適正な利益の確保に努めた。

その結果、年度後半は落ち着いた取り組みとなり、ギフト販売は年間で23%の減少となった。

利用者支援では、個々の作業能力の向上に向けた支援を行っているが、能力維持から低下に向かう傾向にあった。年度途中から生産能力に見合った生産・営業体制を取ったことにより、利用者個々の作業工程と作業量の調整を行い、無理のない作業となるよう努めた。

収入内訳(円)		前年度対比%
菓 子 類	2, 9 5 1, 5 7 3	1 1 2. 4
ギ フ ト 販 売	1, 0 2 4, 6 7 7	7 6. 9
計	3, 9 7 6, 2 5 0	1 0 0. 5

#### <リサイクル事業>

リサイクル事業は、前年から7%増加した。

空缶等リサイクルでは、農福連携作業を優先したため前年より20%減少した。

農福連携作業では、椎茸農家での菌床片付け作業や菌床返し作業に年間を通じて取り組み、前年より9%増加した。

古着等リサイクルでは、コロナ過で古着の回収とバザーを中止していたため売上げが大きく落ち込んでいたが、秋に4年ぶりにバザーを開催し、従来よりも規模を縮小するかたちでの実施となったが、売上げは70%増加した。

利用者支援では、施設外作業に従事する利用者の身体的な負担を軽減するため、作業日程の調整を行ったり、効率的な作業を心掛けるなど利用者の体調面に配慮しながら取り組んだ。

収入内訳(円)		前年度対比%
空缶等リサイクル	4 9 2, 5 3 0	7 9. 8
農 福 連 携	1, 0 7 9, 4 4 0	1 0 9. 6
古着等リサイクル	4 0 4, 7 1 4	1 7 0. 0
計	1, 9 7 6, 6 8 4	1 0 7. 4

<製粉事業>

製粉事業は、前年からほぼ横ばいで推移した。

農水産物の加工受託は、道の駅いわて北三陸へ出品している個人の農水産事業者が増加したものの前年並みの売上となった。

粉製品等の販売は、産直等の観光客の回復もあり9%増加した。

ここ数年来の課題であった部門収支のマイナスであるが、加工受託料の値上げを段階的に行う等営業努力を続けているが、製造原価である光熱水費の高騰が続き、収支改善が見通せない状況が続いた。加えて、製粉機の老朽化が激しく、修理を重ねて維持しているものの作業効率が著しく低下しており、本来であれば設備の更新が必要であるが、事業の将来性から高額な設備投資は難しい状況である。

これらのことから、令和6年5月をもって製粉事業を廃止することとし、年度内に取引先への周知、説明を行った。

また、在籍する利用者は、事業廃止後は施設外作業を中心としたリサイクル科に合流することとし、今年度後半からは施設外作業を合同で行う機会を設ける等、徐々に新たな作業に取り組めるよう配慮しながら支援した。

収入内訳（円）		前年度 対比%
加工受託	909,520	100.8
販売	504,790	109.1
計	1,414,310	103.6

<受託事業>

受託事業は、前年から21%増加した。

松柏園の給食業務では、安定した給食の提供のため情報共有して取り組んだ。

また、昨年課題としていた受託料を値上げして契約締結し、工賃原資を確保するよう取り組んだ。

利用者支援では、作業に集中できる環境づくりを心掛け取り組んだ。

収入内訳（円）		前年度 対比%
給食業務	4,515,000	121.7
計	4,515,000	121.7

## 7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	16	家族会役員会・決算監査	食堂	役員7名、職員3名
5	4	お茶会	食堂	利用者、職員
	4	年間皆勤賞表彰	園内	利用者1名
	28	家族会総会	食堂	家族17名、職員4名
	29	自主避難訓練	園敷地内	利用者、職員
6	16	夏の行事(大野方面ドライブ、道の駅いわて北三陸訪問)	大野・夏井方面	利用者、職員
7	3	入所式	園内	入所者1名
	7	就労継続支援事業所合同説明会	久慈拓陽支援学校	職員1名
	17	就労継続支援事業所合同販売会	道の駅いわて北三陸	利用者4名、職員2名
8	18	夏季特別工賃支給	園内	利用者
9	22	ミニ運動会	園内	利用者、職員
10	2～20	久慈拓陽支援学校後期実習受け入れ	園内	実習生1名
	13	秋の行事(野田塩作り、道の駅たのはた訪問)	野田・田野畑方面	利用者、職員
11	2	結いっこフェスタ(スタッフ)	久慈市民体育館	職員1名
	6～7	インフルエンザ予防接種	関上クリニック	利用者27名、職員9名
	8	総合防災訓練	園庭	利用者、職員
	11	拓陽祭販売	久慈拓陽支援学校	職員1名
	18	オータムバザール	園内	職員11名
	29～12/6	障がい者アート作品展 出展	アンバーホール	

12	9	忘年会	久慈グランドホテル 園内 食堂 園内	利用者、職員
	20	冬季特別工賃支給		利用者
	22	クリスマス会		利用者、職員
	29	仕事納め式・大掃除		利用者、職員
	30～1/3	年末年始休暇		利用者、職員
1	4	仕事始め式	園内	利用者、職員
	12	ミズキまつり	園内	利用者、職員
2	9	利用者健康診断（予防医学協会検診車）	園内	利用者 35名
	12	就労継続支援事業所合同販売会	道の駅いわて北三陸	利用者 4名、職員 1名
	17、18	みずき園事業変更説明会	みずき園食堂	利用者・家族等 66名
	23	結いっこ講演会（スタッフ）	総合福祉センター	職員 1名
	23	冬の行事（卓球バレー、作品作り）	園内	利用者、職員
3	17	第2回家族会役員会	食堂	役員 7名、職員 3名
	20	慰労食事会	道の駅くじ	利用者、職員

※毎月20日は工賃支給日、体重測定、ごちそう給食の日

## 8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議・利用者支援会議	全職員	施設業務、行事予定、授産業務全般、利用者支援について
毎月1回	工賃支給会議	サビ管、各作業科担当職員	利用者の工賃支給額の決定について
年2回	個別支援検討会議	施設長、サビ管、各作業科担当職員	利用者の個別支援計画について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	施設長、副施設長	法人内全事業所の運営について
年2回	工賃評価会議	係長	利用者の作業能力評価について
年4回	給食会議（松柏園、みずき園合同）	施設長、サビ管、各作業科担当職員	給食業務全般、栄養指導について
		施設長、給食担当職員、調理員	

## 9 職員研修の状況

### （1）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
10/4	介護保険事業者等集団指導	岩手県保健福祉環境部	オンライン	施設長	1名	指導監査等について
10/13	障がい者雇用促進セミナー	久慈地域自立支援協議会	久慈グランドホテル	施設長	1名	障がい者が活躍する職場づくり
1/23～26	フォークリフト運転技能講習	久慈建設機械講習センター	久慈自動車学校	目標工賃達成指導員	1名	フォークリフト運転に関する知識と実技の講習

## 令和5年度 共同生活援助事業報告書

### 1 総括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせ地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。

新型コロナウイルス感染症は、5月から第5類感染症の位置付けとなり行動制限は廃止されたが、ホーム内での基本的な感染対策は継続して行った。特に、新型コロナ及びインフルエンザ陽性者発生の際には利用者全員を個室での食事提供に切り替える等、感染拡大防止に努めた。しかし、二次感染と見られる感染拡大により同一ホームの利用者全員がホーム内での療養ないし待機を余儀なくされる状況が複数回発生した。要因の一つとして、陽性となった利用者とその障害特性や病状認識の低さから個室に留まることが難しく、二次感染に繋がったケースがあり、今後の課題となった。

また、入居希望者の新規受入れに向けて体験実習を繰返し次年度正式入居に繋げる事が出来た。

### 2 共同生活住居の所在地及び利用定員

名称	所在地	利用定員	総定員
みずきハウス	久慈市長内町第20地割61番地4	女性5人	22人
なごみハウス	久慈市栄町第37地割78番地16	男性5人	
のどかハウス	久慈市川貫第5地割20番地67	男性6人	
きららハウス	久慈市川貫第9地割24番地1	男性6人	

### 3 職員の配置状況（令和6年3月31日現在）（単位：人）

職種	員数	常勤	非常勤	常勤換算後の員数
施設長（管理者）	1	1		1
サービス管理責任者	1	1		1
生活支援員	2	2		1.2
世話人	7	4	3	5.4
合計	11	8	3	8.6

### 4 利用者の状況

#### （1）月別・ホーム別在籍利用者数

（単位：人）

ホーム別	月別												計	充足率 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みずきハウス （定員5人）	5	5	5	5	5	4	4	4	4	5	5	5	56	93%
なごみハウス （定員5人）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
のどかハウス （定員6人）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	61	85%
きららハウス （定員6人）	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	71	99%
合計	21	21	21	21	21	20	20	20	20	21	21	21	248	94%

## (2) 障害支援区分別利用者数

(単位：人)

障害支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
区分 2	10	10	10	10	10	10	10	10	10	12	12	12	126
区分 3	9	9	9	9	9	8	8	8	8	6	7	7	97
区分 4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	15
合計	21	21	21	21	21	20	20	20	20	21	21	21	248

## (3) 出身市町村別利用者数

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	計
利用者数	12	5	2	1	1	21

## 5 サービス内容

## (1) 個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニーズを大切にしながら、本人及び家族の同意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

## (2) 食事の提供

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した(朝食：7:00～ 夕食：18:00～)。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。コロナウイルス・インフルエンザ感染防止対策の一環で体調不良者が発生した場合は居室にて食事提供を実施した。

※一般就労している利用者の勤務時間によって個別対応を行った(朝食、昼食、夜食)。

## (3) 入 浴

1週間に3回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。利用者の心身状態に応じ入浴準備、見守り支援を行った。

## (4) 排 泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

## (5) 地域生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また、必要に応じて各種手続き、買物の同行、代行支援を行った。

## (6) 健康管理

利用者一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、コロナワクチン接種、入院時の各種手続き、面会等を行った。

## (7) 余暇支援

感染症対策を優先しながら、利用者一人ひとりの希望を尊重し、ホーム内での交流や楽しみを取り入れ、余暇の充実に繋げた。

<誕生日会、クリスマス会(2ホーム合同)等>

## (8) 相談支援

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援を行った。

6 利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス利用料	家賃 (個室)	食費 (1食あたり)	水道光熱費 (電気、水道、灯油、日用品費等)
みずきハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	20,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
なごみハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	25,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
のどかハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
きららハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額10,000円を控除した額を受領。

7 非常災害対策

火災時を想定した避難、通報、消火訓練を4ホーム合同、各ホーム毎に実施。(2月)

火災時を想定した避難、支援者不在時の擬似通報体験を各ホーム毎に実施予定(3月)だったが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止

水害時を想定した避難、通報訓練を2ホーム(みずき・なごみ)実施。(7月)

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	グループホーム全体支援会議	施設長、サービス管理責任者、生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用者支援について
毎月1回	各ホーム支援会議(ホーム毎)	サービス管理責任者、生活支援員、担当世話人等	利用者の個別支援について

9 職員研修の状況

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
8/9	高齢者・障がい者施設向け感染症対策研修会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎6階大会議室	生活支援員	1名	個人防護具の着脱、汚物処理、手洗いについて
8/28	高齢者・障がい者施設向け感染症対策研修会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎6階大会議室	生活支援員	1名	施設における感染対策について
10/27	令和5年度地域生活支援セミナー	岩手県社会福祉協議会 県北ブロック協議会 二戸地域自立支援協議会	二戸市シビックセンター／オンライン参加	世話人	7名	精神障がい者の特性と支援方法について

# 令和5年度 あすリード本舗事業報告書

## 1 総括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労継続支援B型サービスを提供した。

施設の利用状況は、利用者数が21名で入退所者が無く、うち1名の利用者が年間を通じて未利用であった。そのため利用率及び平均利用者数は前年を下回ったが、実利用者ベースでは、ほぼ前年並みの高い利用率であった。新型コロナウイルス及びインフルエンザ感染症による個別の休みが散見されたものの、感染症対応方針に沿い、療養と自宅待機を徹底することで感染拡大することなくサービス提供を継続することができた。

就労支援事業においては、主力となる麺商品の売れ行きが好調であった。要因としては、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことにより売り場への人の流れが増えたことや、道の駅いわて北三陸の4月オープンと同時に産直やテナントの飲食店と新規の取引を開始でき、麺商品の扱い量が大幅に増えたこと、また、あすリード本舗が製造開発を行った生麺を店舗で提供するラーメン店と提携した新商品が1月に発売されたことが挙げられる。このことにより、就労支援事業収入が大幅に伸び、平均工賃も昨年を大きく上回り3万円台を回復することができた。

利用者支援においては、新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い行動制限が緩和されたことから、施設外での行楽行事や広い会場で忘年会を実施するなど、充実した余暇の提供に努めた。

## 2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成30年10月1日
- (3) 定員 20名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目  
麺製造作業、菓子製造作業、販売事業、受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）
- (6) 職員の配置状況（令和6年3月31日現在）

(単位：人)

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長（管理者）	1		1			1
副施設長兼サービス管理責任者	1	1				1
事務員	1	1				1
生活支援員	1	1				1
職業指導員	4	4				4
目標工賃達成指導員	1	1				1
運転手兼職員補助	1			1		0.79
運転手	1			1		0.65
合 計	11	8	1	2		10.44

### 3 施設サービスの状況

#### (1) 個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービスの提供に努めた。

#### (2) 作業支援

利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。

#### (3) 実習・就労移行支援

一般就労希望者に対し、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

#### (4) 社会生活支援

文化活動、余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに社会参加や生きがいがづくり等の支援を行った。

#### (5) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重及び血圧測定を行うほか、健康診断を2月に実施した。

感染症対策として、毎朝の検温の実施と体調確認を行うとともに、手指消毒の徹底を行った。

#### (6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス利用者数 20名（利用率95%）

#### (7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、自主通報・避難訓練（年1回5月）を実施した。

#### (8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当職員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、生活支援に努めた。

#### (9) 苦情受付体制

提供した施設サービスについて利用者やその家族からの苦情・相談を受け付ける苦情受付窓口を設置し、利用者主体の福祉サービスの確保と権利擁護に努めた。

#### 4 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	15.0
女性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	6.0
合計	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252	21.0

(2) 障害別利用者数

(単位:人)

障害種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A判定	B判定	1級	2級	3級	手帳なし	
利用者数	0	1	0	0	0	0	1	17	1	1	0	0	21
小計	1						18		2				

(3) 年齢別利用者数

(単位:人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	6	5	8	2	0	21	36.9歳

(4) 出身市町村別利用者数

(単位:人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	田野畑村	計
利用者数	12	5	3	0	1	21

#### 5 施設利用状況

月別区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数(日)	20	23	22	21	22	21	23	22	22	20	19	21	256
延利用者数(人)	386	440	409	403	420	390	441	419	401	387	347	383	4826
1日平均利用者数(人)	19.3	19.1	18.6	19.2	19.1	18.6	19.2	19.0	18.2	19.4	18.3	18.2	19.0
利用率(%)	91.9	91.1	88.5	91.4	90.9	88.4	91.3	90.7	86.8	92.1	87.0	86.8	89.8

## 6 就労支援事業の状況

### (1) 年間事業収入

項目	収入(円)	前年度対比(%)
製麺事業	31,667,240	120.3
食品製造事業	2,100,665	100.6
販売事業	790,997	69.0
受託事業	5,059,439	90.7
合計	39,618,341	112.7

### (2) 工賃支給状況

	令和5年度目標	令和5年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	30,000円	30,040円	25,918円

### (3) 各事業の状況

#### <製麺事業>

主力商品の生中華麺は、スーパー等量販店へ袋麺・スープ付麺など、食堂等業務用の卸販売を継続的に営業し、昨年以上の売り上げを確保する事が出来た。その他の商品についても、概ね前年を上回る売上であった。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により飲食店、産直等への人の動きが増え、新しく道の駅いわて北三陸の新規取引もあり売り上げを大きく伸ばす事が出来た。又、久慈市内のラーメン店「サムライブギー」と共同開発した新商品が1月に発売され、順調な伸びを示している。

利用者支援の状況は、可能な限り利用者を固定することで、作業への熟練度を上げ、安定的な作業となるよう努めた。

収入内訳(円)		前年比%
袋・パック・箱	7,605,033	131.3
生中華麺	16,058,779	125.6
じゃあじゃあ麺	3,127,770	120.5
スープ類	2,510,491	98.5
ギフト・その他	2,365,167	91.0
計	31,667,240	120.3

#### <食品製造事業>

4月開業した、道の駅いわて北三陸の産直への新規取引によりかりんとうの注文が増え、設備の関係からイラスト煎餅の受注を終了せざるを得なかったが、部門として前年度の売り上げを上回った。

利用者支援の状況は、菓子類の製造の他、受託作業との連携により作業を確保するよう努めた。

収入内訳(円)		前年比%
かりんとう	1,737,076	114.2
その他(たい焼き等)	363,589	64.5
計	2,100,665	100.8

<販売事業>

青の国ふだいの「昆布製品」を仕入れ自社製品とともにギフト販売を行ったが、例年と比べみずき園や他社からの仕入が薄くなったため、部門としての売り上げは低下した。

販売事業は、自社の営業努力を数値化するために設けた部門であったが、現在では売り上げを製麺と食品製造に直接計上する方法に整理されており、部門としては仕入販売のみの計上となっている。そのため、一部門として取り扱う必要性が薄れてきたことから、次年度から製麺事業に統合することとした。

収入内訳（円）		前年 比%
ギフト	648,985	74.2
その他（仕入れ商品 通常販売）	142,012	52.3
計	790,997	69.0

<受託事業>

木炭の袋詰め作業は供給元の生産体制が不安定な状況であったが、連絡調整と交渉に努めた結果、前年を上回る作業量を確保した。また、木炭の運搬に一定の時間を要することから、補助職員を新たに配置することで補い、利用者支援の充実と作業効率の向上を図った。

のだ塩調整作業（異物除去等）は、（株）のだむらの減産に伴い受託作業量が減り、前年対比77.6%と大巾に減収した。

また、年間を通じておおのミルク工房のアイスカップ等のシール貼作業に対応した。その他として、わかめの袋詰め、山ぶどうの房取り作業を受託した。

収入内訳（円）		前年 比%
のだ塩調整作業	2,079,782	77.6
炭袋詰作業	2,458,450	105.2
その他（シール貼等）	521,207	92.0
計	5,059,439	90.7

## 7 主要行事

月	日	行事等	場所	参加者等
5	31	自主避難訓練	園庭	利用者・職員
5	20	春の施設外行事（もぐらんぴあ・北三陸道の駅・グリーンヒルおおの）	市内・洋野町	利用者・職員
7	3	利用者親睦会総会	施設内	利用者
10	26	総合防災訓練（消火訓練含む）	園庭	利用者・職員
10	21	秋の施設外行事（平庭高原こだま館）	葛巻町	利用者・職員
12	2	忘年会（久慈グランドホテル）	市内	利用者・職員
12	25	クリスマス会	施設内	利用者・職員
2	9	利用者健康診断	みずき園	利用者
3	27	二十歳を祝う会	施設内	利用者・職員
毎月1回		手話講習会	施設内	利用者・職員

\*毎月20日は工賃支給日、体重・血圧測定

\*ラーメン昼食の日、年5回提供

## 8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内 容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、授産業務全般について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議	施設長、副施設長 係長	法人内全事業所の運営について

## 9 職員研修の状況

### (1) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加 職種	参加 人数	研修内容
10/4	令和4年度 介護・福祉 事業者等集 団指導	県北広 域振興 局	オンラ イン	副施設長兼サー ビス管理責任者	1名	実施指導について 感染症対策につい て 栄養指導について
11/14 ・ 11/17	フォークリ フト運転技 能講習	久慈建 設機械 講習セ ンター	久慈自 動車学 校	職業指導員	1名	フォークリフト運 転に関する知識と 実技の講習
2/1	令和4年度 サービス管 理責任者更 新研修	岩手県 保健福 祉部	ふれあ いラン ド岩手	目標工賃達成 指導員	1名	サービス提供の自 己検証に関する演 習

令和 5 年 度

チャレンジドセンター 久慈事業報告

## ①雇用安定等事業

### 1. 総括

感染症への対策はこれまでと変わらず必要であったが、地域での受け入れ態勢が通常に戻りつつあったことから概ね予定していた事業が実施できた。また、継続開催している職場説明会からの実習、就職へつながる方も増え、今年度は早い段階で事業継続要件を達成できた。

### 2. 事業概要

事業種別 : 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）

職員体制 : 主任就業支援ワーカー1名、就業支援ワーカー2名

支援対象 : 久慈圏域（1市1町2村）

地域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村

（久慈圏域管轄外の市町村 八戸市、軽米町、葛巻町等）

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始（12月30日から翌年1月3日まで）その他、あらかじめ指定した日を除く。

### 3. 事業の実施内容

#### (1) 企業開拓

- 電話での実習依頼や企業訪問をし、実習先の開拓及び職場実習のあっせんを行った。
- 就労希望者及び企業ニーズを的確に把握し、適切なジョブマッチングを行った。
- 企業を対象に障がい者雇用に関する啓発活動を行った。

#### (2) 相談（職業生活に関すること・職場定着支援）

- 就労を希望している障がいのある方等を対象に相談を行った。
- ケアマネジメントの手法に基づき、就労や職場実習を行った。

#### (3) 障害者雇用企業・事業所支援

- 就職を希望する方の能力、特性に関する情報提供を行った。
- 職業生活に課題が生じた場合の相談・支援を行った。
- スキルアップを目的とした研修会を開催した。

#### ◆事業所対象研修会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

##### 第1回

日時 : 令和5年5月19日（金）14:00～16:30

場所 : ロイヤルパークカワサキ

参加者 : 企業 : 20名 構成員 : 16名 講師 : 2名 計38名

研修内容 : 講演

『障がい特性に合わせた業務の組み立て方』

講師 : 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部  
岩手障害者職業センター  
石井 正博 氏

講演

『発達障がい者の就労について』

講師 : 岩手県発達障がい者支援センターウィズ  
長葭 康紀 氏

第2回

日 時：令和5年10月13日（金）15：00～17：15

場 所：久慈グランドホテル

参加者：企業：11名 構成員：12名 講師：4名 計27名

研修内容：講演

『障がい者が活躍する職場づくり』

講師：有限会社西部産業

常務取締役 吉田 美保子 氏

シンポジウム

『障がい者雇用のメリットと課題』

ファシリテーター：久慈地区チャレンジド就業・生活センター

主任就業支援ワーカー 鈴木 潔 氏

アドバイザー：有限会社西部産業

常務取締役 吉田 美保子 氏

シンポジスト：有限会社タニムラフードサービス

代表取締役 谷村 秀 氏

有限会社ホームセンター仙台

代表取締役 米内 松司 氏

株式会社北三陸ファクトリー

総務部長 戸狩 明代 氏

(4) 関係機関との連携

○関係機関との連携強化を図り、一体的かつ総合的な支援体制（チーム支援）の構築を図った。

◆ネットワーク会議（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第1回 令和5年4月27日（木） 出席者数：26名

報告

- (1) 久慈地域障害者自立支援協議会について
- (2) 久慈地区障がい者就労支援ネットワークについて
- (3) 令和5年度事業計画について
- (4) 第1回事業所対象研修会について
- (5) 会員企業一覧について

議事

- (1) 令和4年度事業報告について
- (2) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会について
- (3) 第1回在職者交流会について
- (4) 第2回在職者交流会について
- (5) 久慈管内就労継続支援事業所合同販売会について

第2回 令和5年6月22日（木） 出席者数：21名

報告

- (1) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会について
- (2) 第2回在職者交流会について

議事

- (1) 第1回事業所対象研修会実施報告

- (2) 第1回在職者交流会実施報告
- (3) 久慈管内就労継続支援事業所合同販売会について
- (4) 第3回久慈地域職場説明会について
- (5) 第3回在職者交流会について
- (6) 第2回事業所対象研修会について

第3回 令和5年8月24日(木) 出席者数：18名

**報告**

- (1) 第3回在職者交流会について

**議事**

- (1) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会実施報告について
- (2) 第2回在職者交流会実施報告について
- (3) 久慈管内就労継続支援事業所合同販売会実施報告について
- (2) 久慈地域障がい者職場説明会について
- (5) 第2回事業所対象研修会について
- (6) 第4回在職者交流会について

第4回 令和5年10月26日(木) 出席者数：22名

**議事**

- (1) 久慈地域障がい者職場説明実施報告について
- (2) 第3回在職者交流会実施報告について
- (3) 第2回事業所対象研修会実施報告について
- (4) 久慈地域職場説明会 in 久慈拓陽について
- (5) 第4回在職者交流会について
- (6) 第2回久慈管内就労継続支援事業所合同販売会について

第5回 令和6年1月24日(水) 出席者数：23名

**議事**

- (1) 久慈地域職場説明会 in 久慈拓陽実施結果について
- (2) 第4回在職者交流会実施結果について
- (3) 第5回在職者交流会の中止について
- (4) 第2回久慈管内就労継続支援事業所合同販売会について
- (5) 令和6年度事業計画(案)について

第6回 令和6年3月7日(木) 出席者数：22名

**報告**

- (1) 会員企業について

**議事**

- (1) 令和5年度就労支援ネットワーク事業計画(案)について
- (2) 令和5年度第1回事業所対象研修会について
- (3) 令和5年度第1回在職者交流会について

(5) 職場説明会の開催

○障がい者と事業所のマッチングと相互理解を目的とした説明会を開催した。

◆職場説明会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第1回 久慈地域障がい者職場説明会 日 時：令和5年9月1日（金）13：30～16：40 場 所：久慈グランドホテル 参加者：企業10社14名 障がい者等：19名 構成員：19名 来賓：2名 もりおか若者サポートセンターステーション：1名 ピアサポーター：1名、 他：3名 計58名
第2回 久慈地域障がい者職場説明会in久慈拓陽支援学校 日 時：令和5年11月22日（水）13：15～14：50 場 所：岩手県立久慈拓陽支援学校 体育館 参加者：企業9社12名 久慈拓陽支援学校生徒：28名 教員、保護者：35名 構成員：8名 計83名

(6) 交流会・勉強会の開催

○障がいのある方等に対して、情報交換・勉強会等のサポートを行った。

◆在職者交流会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第1回 令和5年6月7日（水）「とっても素敵な社会人を目指して」 参加者数：在職者…4名（知的…1名、精神…3名） 構成員…15名 講師…3名 計22名
第2回 令和5年7月13日（木）「健康で長く働き続けるために」 参加者数：在職者…1名（精神…1名） 構成員…10名 計11名
第3回 令和5年9月28日（木）「不安や悩みを抱え込まずに働くために」 参加者数：在職者…3名（知的…2名、発達…1名） 構成員…8名 企業…1名 講師…1名 計13名
第4回 令和5年12月9日（土）「仕事力アップのために」 参加者数：在職者…2名（身体…2名） 構成員…3名 手話通訳者…2名 計7名

(7) 本人会開催のサポート

○職場説明会の際に、求職者へ向けて在職者が実際に求職活動してみたの体験談を話していただく機会を提供した。

(8) 生活困窮者のうち障がい者が窺われる者への就労促進と職場定着

○障がい者が窺われる者との面談や支援プラン策定の場への同席をした。

○受け入れ企業への助言や訓練への同行を行った。

4. 事業継続に係る実績

(1) 就 業… 19名

(2) 実 習… 20名

5. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

## (1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
5月23日	復命研修	研修参加職員	就業支援ワーカー	3名	高次脳機能障害について
1月4日	職員研修会	担当職員	就業支援ワーカー	2名	支援の視点について

## (2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
6月15日	令和5年度第1回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	就業支援ワーカー	1名	講話 「久慈地域の自殺の現状と自殺対策の取組について学ぼう」
9月21日	令和5年度第2回岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会職員研修会	岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会	ZOOM開催	就業支援ワーカー	3名	講演 「陸前高田市での中間的就労の取り組み」
2月22日	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会第2回研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	宮古市ホテル近江屋	就業支援ワーカー	2名	シンポジウム 「精神障がい者と発達障がい者の就労支援について」

## ②生活支援等事業

### 1. 総括

一般就労している方は生活自立度が高く支援の必要性が低い傾向であったが、感染症や地域の経済状況等、様々な要因から生活ニーズの変化が生じたことに伴い、相談支援専門員と連携して支援にあたるが増えてきている。

### 2. 事業種別 : 障害者就業・生活支援センター事業 (生活支援等事業)

職員体制 : 生活支援ワーカー 1名

支援対象 : 久慈圏域 (1市1町2村)

地域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村

(久慈圏域管轄外の市町村 八戸市、軽米町、葛巻町等)

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始 (12月30日から翌年1月3日まで) その他、あらかじめ指定した日を除く。

### 3. 事業の実施内容

#### (1) 地域生活支援

- 福祉施設やサービス事業所の紹介や見学同行などを行った。
- 福祉制度を有効に利用できるよう、情報の提供や手続き等の支援同行を行った。
- 職場への通勤支援や病院への通院同行を行った。
- 余暇活動の支援や情報提供を行った。
- 上記を踏まえ、相談支援事業所と連携しながら支援を行った。

#### (2) 職業生活を高める支援

- 職場で抱える悩みの相談にのり、仲間づくりや本人らが話し合える場の提供に努めた。
- 日常生活を送るうえで本人に必要な勉強会を開催した。

#### ◆在職者交流会 (障がい者就労支援ネットワークの事業として実施)

第1回	令和5年6月7日(水)「とっても素敵な社会人を目指して」 参加者数: 在職者…4名(知的…1名、精神…3名) 構成員…15名 講師…3名 計22名
第2回	令和5年7月13日(木)「健康で長く働き続けるために」 参加者数: 在職者…1名(精神…1名) 構成員…10名 計11名
第3回	令和5年9月28日(木)「不安や悩みを抱え込まずに働くために」 参加者数: 在職者…3名(知的…2名、発達…1名) 構成員…8名 企業…1名 講師…1名 計13名
第4回	令和5年12月9日(土)「仕事力アップのために」 参加者数: 在職者…2名(身体…2名) 構成員…3名 手話通訳者…2名 計7名

#### (3) 職場定着支援

- 企業での人間関係の調整を行う。
- 家庭訪問や定期的な面談を行い、家族を含めた就労後のフォローアップを行った。
- 事業主に対する障害特性の相談や職場定着における支援を行った。
- 健康管理や金銭管理等、社会生活に必要な助言を行った。

(4) 関係機関との連携

○学校、福祉、医療機関等、各関係機関との連携を図り、地域の中で本人の生活を支える仕組み作りに努めた。また、本事業の理解を促進するため、ネットワーク構築を図った。

4. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
5月23日	復命研修	研修参加職員	生活支援 ワーカー	1名	高次脳機能障害 について
1月4日	職員研修会	担当職員	生活支援 ワーカー	1名	支援の視点につ いて

(2) 施設外研修

・なし

### ③相談支援事業

#### 1. 総括

今年度も一般相談よりも計画相談での支援が多かった。計画相談においては、一般就労から就労継続支援事業所の利用へ就労希望を変更する方への対応や事業所の変更を希望する方への対応が微増している。また、生活ニーズの変化により転居する方もおり、市町村や県域をまたいだ支援が例年より増え、多様なニーズへの対応が必要となってきた。

また、新たに就労分科会の事業として就労継続支援事業所の工賃向上を目的とした合同販売会（えーびーマーケット）を年2回実施した。

#### 2. 事業概要

事業種別 : 特定・児童相談支援事業、一般相談支援事業

職員体制 : 相談支援専門員1名、事務員1名

支援対象 : 久慈圏域（1市1町2村）

地域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村

（その他の地域に関しては、必要性に応じて検討する）

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始（12月30日から翌年1月3日まで）その他、あらかじめ指定した日を除く。

#### 3. 事業の実施内容

##### （1）相談、福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、手続き、計画作成等）

○日常生活全般に関する相談に応じるとともに、サービスの提供方法を理解しやすいよう説明を行った。また、サービス等利用計画の作成についても必要に応じて実施した。

##### （2）社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言・指導等）

○各種支援施策に関する助言を行い、生活していくうえで社会資源を有効に活用するとともに、既存の社会資源をつなぎ合わせることに努めた。

##### （3）社会生活力を高めるための支援

○社会生活上における助言や支援を行い、社会生活力の確保・向上に努めた。

##### （4）権利擁護のために必要な支援

○契約等の判断をすることが不安な方、日常生活に不安を抱えている方などに対して、自立した地域生活が安定して送れるように福祉サービスや成年後見人制度等の利用援助を促した。

##### （5）関係機関との連携、ネットワーク構築

○行政、福祉、医療、教育等の関係機関と連携を図るとともに、必要な専門機関の紹介を行った。

また、関係機関とのネットワークを構築し、地域生活を支えるシステム作りに努めた。

#### ◆就労継続支援事業所合同説明会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

##### 第1回

日時：令和5年7月7日（金）13：15～15：00

場所：岩手県立久慈拓陽支援学校 体育館

参加者：説明事業所7事業所：11名 久慈拓陽支援学校生徒：33名

教員：13名 保護者：9名 構成員：7名 計65名

#### ◆就労継続支援事業所合同販売会

第1回「えーびーマーケット」

日時：令和5年7月17日（月）10：30～14：30

場所：道の駅いわて北三陸

参加者：出店事業所7事業所、スタッフ8名

来場者：延べ326名

第2回「えーびーマーケット～冬の陣～」

日時：令和6年2月12日（月）10：30～14：30

場所：道の駅いわて北三陸

参加者：出店事業所5事業所、スタッフ5名

来場者：延べ246名

(6) 就労支援分科会の運営

○行政機関、サービス提供事業者等の関係者が福祉、就労、保健医療、教育等のサービスを総合的に調整し、障がいの有無に関わらず、安心して暮らせる地域づくりに努めた。

◆就労分科会

第1回 令和5年4月27日（木） 出席者数：26名

報告

- (1) 久慈地域障害者自立支援協議会について
- (2) 久慈地区障がい者就労支援ネットワークについて
- (3) 令和5年度事業計画について
- (4) 第1回事業所対象研修会について
- (5) 会員企業一覧について

議事

- (1) 令和4年度事業報告について
- (2) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会について
- (3) 第1回在職者交流会について
- (4) 第2回在職者交流会について
- (5) 久慈管内就労継続支援事業所合同販売会について

第2回 令和5年6月22日（木） 出席者数：21名

報告

- (1) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会について
- (2) 第2回在職者交流会について

議事

- (1) 第1回事業所対象研修会実施報告
- (2) 第1回在職者交流会実施報告
- (3) 久慈管内就労継続支援事業所合同販売会について
- (4) 第3回久慈地域職場説明会について
- (5) 第3回在職者交流会について
- (6) 第2回事業所対象研修会について

第3回 令和5年8月24日（木） 出席者数：18名

報告

- (1) 第3回在職者交流会について

議事

- (1) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会実施報告について

	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2) 第2回在職者交流会実施報告について</li> <li>(3) 久慈管内就労継続支援事業所合同販売会実施報告について</li> <li>(2) 久慈地域障がい者職場説明会について</li> <li>(5) 第2回事業所対象研修会について</li> <li>(6) 第4回在職者交流会について</li> </ul>
第4回	令和5年10月26日(木) 出席者数：22名 <b>議事</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 久慈地域障がい者職場説明実施報告について</li> <li>(2) 第3回在職者交流会実施報告について</li> <li>(3) 第2回事業所対象研修会実施報告について</li> <li>(4) 久慈地域職場説明会 in 久慈拓陽について</li> <li>(5) 第4回在職者交流会について</li> <li>(6) 第2回久慈管内就労継続支援事業所合同販売会について</li> </ul>
第5回	令和6年1月24日(水) 出席者数：23名 <b>議事</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 久慈地域職場説明会 in 久慈拓陽実施結果について</li> <li>(2) 第4回在職者交流会実施結果について</li> <li>(3) 第5回在職者交流会の中止について</li> <li>(4) 第2回久慈管内就労継続支援事業所合同販売会について</li> <li>(5) 令和6年度事業計画(案)について</li> </ul>
第6回	令和6年3月7日(木) 出席者数：22名 <b>報告</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 会員企業について</li> </ul> <b>議事</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度就労支援ネットワーク事業計画(案)について</li> <li>(2) 令和5年度第1回事業所対象研修会について</li> <li>(3) 令和5年度第1回在職者交流会について</li> </ul>

#### 4. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

##### (1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
5月23日	復命研修	研修参加職員	相談支援専門員	2名	高次脳機能障害について
1月4日	職員研修会	担当職員	相談支援専門員	1名	支援の視点について

##### (2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
6月15日 ～ 16日	障がい者相談支援従事者初任研修	岩手県	盛岡市 ふれあいランド岩手	相談支援 専門員	1名	講義 「相談支援の目的」 等
7月13日 ～14日	障がい者相談支援従事者初任研修	岩手県	盛岡市 ふれあいランド岩手	相談支援 専門員	1名	講義 「ケア会議の進め方」 演習 等
8月10日	令和5年度第3回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援 専門員	1名	講話 「児童・生徒のメンタルヘルスについて学ぼう」
9月21日	令和5年度第4回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援 専門員	1名	講話 「取り組みを振り返り今後の自殺対策について考えよう」
10月6日	令和5年度久慈圏域地域医療的ケア児等の支援に係る関係機関連絡会研修会	久慈圏域地域医療的ケア児等の支援に係る関係機関連絡会	元気の泉	相談支援 専門員	1名	講演 「医療的ケア児ってどんな子？」 等
11月16日	令和5年度第6回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援 専門員	1名	講話 「依存症問題とその支援について学ぼう」 等
12月15日	令和5年度第7回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援 専門員	1名	講「被災地に「おけるこころの健康づくりについて学ぼう」と題しての取組報告 等

2月15日	いきる支援 セミナー	岩手県久慈 保健所	ZOOM 開催	相談支援 専門員	1名	基調講演 「自殺対策やメンタルヘルスをめぐる動向について」 等
-------	---------------	--------------	------------	-------------	----	---------------------------------------